



# 学校便り 琢磨

令和3年度 第23号 R3.12.2 三豊市立詫間小学校

## 土井先生が赴任しました！

12月1日から、土井 章人（どい あきと）講師が赴任しました。土井講師は、月曜日から金曜日の週5日間、午前中だけの勤務です。

1年生松、竹、梅の3クラスと、3年生松、竹、梅の3クラスの算数や国語の授業に入り、担任の教員と共に学習の指導を行っていきます。

朝の会や朝の活動は、毎朝、1年松組に行きます。

どうぞ、よろしくお願いいたします。



## 和太鼓クラブの発表がありました！



11月30日（火）の昼休み。体育館で和太鼓クラブの演奏発表がありました。

和太鼓クラブは、毎年、校内音楽会の時に演奏発表をしていますが、昨年そして、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため音楽会は中止となっています。そこで、昨年度と同様に、昼休みに2回公演を行いました。2回行うのは、密を避けるためです。

今回も、迫力ある演奏を披露してくれました。和太鼓クラブの皆さん、ありがとうございました。

## 「SAKIMORI」除幕式に6年生が参加！

テレビのニュースや新聞でご覧になった方も多いかと思います。11月24日（水）。6年生は、栗島での彫刻作品の除幕式に招待されました。

世界的に有名な彫刻家「流 政之」さんが制作した「SAKIMORI（サキモリ）」が、栗島海洋記念公園内に設置され、その除幕式が11月24日に行われました。その式に、地元の小学校である詫間小学校の6年生全員が招待されたのです。この式の中で、6年生はクラスごとに調べたこと（流さんの生涯、流さんの作品、流さんの作品が栗島に置かれる理由）を発表しました。とても素晴らしい発表だったと来賓の皆様も大絶賛でした。

6年生は、式の後、栗島を走るエコカートの試乗や環境学習も行いました。遠足みたいでしたね。



### 家に救急車を呼んだ話

私が高校3年生の時ですから、もう40年も前のことになります。救急車を家に呼んだことがあるのです。

先日、3年生の社会科の授業を観ていると、「消防署や警察署のお仕事」について勉強していました。110番通報（警察）や119番通報（消防）があれば、その後、どうなるのかということについて調べていたのです。その授業を観ていて、40年も前のことを思い出したのです。

当時、私は高校3年生で、家で受験勉強をしていました。ちょうど冬休みで、4歳年上の姉（当時大学4年生）が帰省しており、家には、私と姉しかいませんでした。姉は、受験勉強をしている私のためにドーナツを作ってくれていたのです。ところが、台所から「ぎゃーっ！」という姉の悲鳴が聞こえました。私は、2階の自分の部屋から急いで1階の台所に駆けつけました。そこには、頭から熱い油をかぶってしまった姉の姿があったのです。何らかの事情で揚げていたドーナツが油の中で爆発してしまい、その油を姉は頭からかぶってしまったのです。鍋の中には、油は、ほとんど残っていませんでした。姉は、「救急車、呼んで！」と叫び、その床に倒れ込んでうなっているだけでした。

私は、すぐに受話器を上げてダイヤルを回しました。40年も前ですので、携帯電話はありませんし、右の写真のようなダイヤルを回す電話機しかありませんでした。私は、この電話で「1、1、9」とダイヤルを回したはずだったのです。しかし、つながったのは「はい。110番です。事故ですか？事件ですか？」だったのです。きっと慌てていたので、指を「9」の所に入れないで「0」の所に入れてしまったのでしょうか。「姉がやけどをしたので・・・。」とだけ、やっと言うと、「大丈夫です。こちらから救急車を手配します。」と仰ってくださったのです。だから、私はこの時に119番へは通報していないのです。



すぐに救急車は、家に駆けつけてくれました。救急車が到着するまでの間、高温の油を頭からかぶった姉は、真冬というのに震えながら冷水を頭から浴びていました。実は、この後、すぐに消防署から電話がかかってきて、少し落ち着いた私が電話を取り、状況を説明すると、「とにかく救急車が到着するまで冷水で冷やしてください。」と教えてくださったのです。

姉は、しばらく入院し、やけどの跡が残るかもしれないという不安と戦いながら療養しました。おかげさまで、数か月後、やけどの跡は、化粧をすれば目立たなくなるまでに回復しました。それも、救急車が迅速に来てくれたことや、消防署の方が、救急車の到着まで冷水で冷やすことを指示してくださったおかげだと思います。

今日、3年生の勉強で、110番通報したら、どのように連絡がつながるのかという図に、「警察本部と消防署に双方向の矢印（⇔）があるけど、その理由は、何だろう？」と考えていたのでこのことを思い出しました。警察と消防はつながっている（連携している）ということを改めて実感させられました。それと同時に、40年以上も前のことですが、昨日のこのように、その時の状況や気持ちを思い出しました。

ところで、ドーナツが油の中で爆発してしまった原因は、はっきりとは分からなかったのですが、40年経った今、インターネットで検索してみると、ドーナツの爆破事故は、少なからずあるようです。皆様も気を付けてください。